

令和5年度1学期 学校評価 自己評価書

1 学校の重点目標

- 主体的な課題解決活動の充実を目指した、授業の展開と学力向上
- 生徒指導的諸問題への早期対応、組織的対応
- 道徳、人権教育を推進し、人間関係構築力育成や不登校(傾向)新出防止
- 教育相談や特別活動等を充実し、生徒自身の選択による進路実現
- 学級活動や生徒会活動等を通じた主体的な生徒の育成

2 課題と改善策

	評価項目	職員	評価結果と改善方策
重点項目	1 自他の生命を尊重する生徒の育成	3.5	・全教育活動を通じた実践に努める。
	2 基礎・基本の定着、個性を伸ばそうとする生徒の育成	3.5	・個別指導の充実、指導法改善の一層の推進。ICT活用
	3 健康増進に努め、最後までやり遂げようとする生徒の育成	3.6	・市郡総体の出場に向けて粘り強く練習に励むことができた。
	4 特色ある教育活動による、心豊かな生徒の育成	3.2	・人権教室や保健教室の充実を図ることができた。
	5 授業を通じた研修の充実、指導力の向上	3.3	・教育実習や初任校研修等の授業を通して相互の研修を行った。
生徒指導	1 基本的な生活習慣の徹底	3.1	・共通理解事項を生徒指導委員会で確認し、継続的な取組を推進した。
	2 問題行動等の早期発見と対応、非行の未然防止	3.6	・職員間の情報共有により問題行動等の早期発見と対応を図ることができた。
	3 全職員一体の指導態勢の確立、心に届く生徒指導	3.1	・生徒指導委員会を中心に各学年で連携した指導ができた。
	4 教育相談活動の重視、生徒との心のふれ合い	3.6	・教育相談後にSCとの面談につなげることができた。
	5 いじめ問題や不登校に対する人間関係づくり	3.5	・生徒指導主任・学年部を中心に学校全体の問題として取り組んでいる。
学力向上	1 学習意欲や態度の向上を促す授業の充実	3.2	・生徒の興味・関心が高まる教材・教具等の工夫に努めている。
	2 個性の伸長、基礎・基本の定着を図る授業	3.2	・ノート点検や小テスト・ナビマ問題等の継続的な実施に取り組んだ。
	3 問題解決的な学習、体験的学習の指導法	3.1	・協働的な学びの場の設定を増やし、思考力を高める。
	4 総合的な学習の時間の指導法	3.1	・計画変更もあったが、大半は計画通り実施することができた。
	5 少人数指導による指導法の工夫	3.5	・習熟の程度に応じたクラス編成を行い、学習指導を行うことができた。
心の教育	1 道徳の時間の工夫・充実、道徳的実践力	3.5	・各学年で担任・副担任をとわず連携しながら授業に取り組んでいた。
	2 心豊かな生徒の育成	3.3	・機会あるごとに生徒の善行や功績を称え、自己肯定感を高めるようにしている。
	3 読書指導の充実、読書習慣の定着	3.2	・学校図書館司書と生徒会図書委員会と連携した取り組みができています。
	4 人権教育に対する研修の推進	3.2	・外部講師による研修を通じた人権教育の充実を図ることができた。
	5 人権尊重の精神・生命尊重の精神の育成	3.4	・人権作文、標語を全校で取り組み、意識の高揚を図った。
	6 特別支援教育への理解(合理的配慮)	3.3	・職員研修で複数回取扱い、職員間での共通理解を深めた。
体力向上	1 健康づくり、気力・体力づくりの推進・充実	3.2	・授業やスポーツテストの結果をもとに運動技能向上に努めた。
	2 定期的な安全点検を実施し、事故防止	3.7	・全職員による点検ができています。
	3 部活動に充実、楽しい体力づくり、規律ある態度	3.5	・総体出場という目標に向けて日々の練習に励むことができた。
	4 給食マナー指導、歯磨き指導	3.8	・係の生徒、全職員の取組で安心安全な給食の時間になっている。
教育環境	1 清潔で落ち着いたきれいな学校	2.9	・率先垂範、無言作業を奨励する。
	2 校舎内外の整理整頓	3.4	・普通教室を中心に整理整頓を心掛けた。
	3 社会参加活動やボランティア活動	2.8	・あいご会の活動への参加ができないところもあるが、生徒は意欲を持っている。
	4 校内掲示教育の活性化	3.2	・設営コンクールにより、教室設営の充実を図った。

3 2学期に向けての取組

- 基礎学力の定着及び学力向上に向けた授業改善および困り感をもつ生徒への個別対応に取り組む。
- 保健室登校・不登校傾向生徒の状況を把握し、市SC、県SC等の外部機関と連携した対策に取り組む。
- 研究授業の推進と管理職による見届け、指導の徹底を通して、全職員で学力向上に取り組む。
- ICT関係の職員研修の充実を図り、授業実践や学習支援に役立てる。